

# ともいき 共生

2018年7月

Vol.05

社会福祉法人  
札幌慈啓会 広報誌



テーマ

Contents

## 地域と共に生きる

- .....2・3ページ
- ・より良いサービスの提供を目指して… 4ページ
- ・平成29年度決算報告、苦情報告…… 5ページ
- ・支えてくれる人と組織…… 6・7ページ
- ・お知らせ…… 8ページ



# 地域と共に生きる

日本は、諸外国に例を見ないスピードで少子高齢化が進行しています。国は団塊の世代が75歳以上となる2025年以降は、医療や介護の需要が、さらに増加することを予想しています。このため、誰もが介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」を構築することを政策の柱として進めようとしています。このシステムの推進には、高齢者だけではなく障害がある方をはじめ、様々な課題を抱える方など、住民の誰もがその人の状況にあった支援を受けられる体制を構築していくことが必要です。そして、市区町村が中心となり、社会福祉法人をはじめ民間企業・ボランティア団体が、地域住民の皆様と共に、自主的に地域作りを行うことを求めてきております。

このような地域づくり実現にむけて、法人の運営施設が取り組んだ、旭ヶ丘地区と手稲地区の試みについてご紹介したいと思います。

## 住民を支える医療と介護の連携

このケアシステムの中では、医療と介護は高齢者の住まいを中心として最も近い存在として連携することが求められています。

慈啓会病院では、札幌市在宅医療協議会のご協力をいただき、平成30年3月28日に中央区で最初の「在宅療養後方支援病院と近隣在宅医との懇話会」を開催致しました。当院は、平成27年5月より、「在宅療養後方支援病院」に登録し、地域の診療所やクリニックと連携し、かかりつけ医の求めに応じて当院が24時間いつでも入院を受ける体制を整えております。この懇話会は、地域における病院・診療所連携体制の構築、在宅医療を実施する医師と後方支援病院との関係強化を図る一環として開催しました。

当日は、地域の医療機関の皆様43名（医師19名、看護師・相談員等24名）に参加頂き、当院の特徴・病棟機能・最近の取り組みの紹介、病棟交換・質疑応答を行い、互いの役割の再確認や連携を進めるための課題の共有ができ、より一層の相互理解

を深めることが出来たと思っております。

これからも慈啓会病院では地域の皆様にもわかりやすい、顔の見える連携・考え方の見える連携、そして住民の皆様の生活にもっとも近い医療と介護との連携がうまくいくように、取組んでいきたいと考えております。

次に手稲地区の札幌市稲寿園における札幌市生活困窮者就労訓練事業への参加についてご紹介します。

### 福祉施設の地域への社会貢献

特別養護老人ホーム札幌市稲寿園では、昨年4月に札幌市の「生活困窮者就労訓練事業」へ参加申請を行



い、5月に事業所登録を受けました。その後、札幌市生活就労支援センター、通称「ステップ」と密接な

連携を図りながら、就労訓練の受け入れを進めました。この事業の対象者は、「ひきこもりあるいはニートの状態にあった人、長期間失業状態が続いている人等」ですが、訓練を希望された方を受け入れ、就労の機会を提供しながら、必要な知識・訓練等の指導を行い、最終的には支援なしに、一般就労が出来るようになることを目指しています。平成29年度の実績は、昨年8月から今年3月まで1名、今年の1月から4月まで1名、合計2名の方の就労訓練を行いました。

札幌市稲寿園では、就労への意欲を高めるために、訓練を受ける方を短期の契約職員として法人が雇用し、給与を支給する形で実施しています。

訓練期間は基本的に3ヶ月、週3日、3〜4時間程度を本人の負担のないように行います。訓練内容は、清掃・洗濯・介護業務の3種類の軽作業を計画的に行い、その後、本人の希望があれば、訓練レベルを上げ

て3ヶ月間の期間延長が出来ます。また、清掃・洗濯業務の訓練については、施設で委託契約を結んでいるメンテナンス会社の協力ももらいながら、専門的な指導の下で実施するようにしています。



訓練を進めていくうちに最初は緊張していた表情も柔らかくなり、職員との会話も増え、本人の本格就労への意欲が高まるなど、訓練自体に一定の効果が認められたところで、また、受け入れ側の職員もわかりやすく伝える工夫や、前向きに取り組んでもらうための誘いがけなどを意識するようになりました。今後も訓練の受け入れを継続することで、微力ながら社会福祉法人としての役割を果たしていきたいと思っております。

以上、2地区の取り組みをご紹介します。



しましたが、他にも地域住民の皆様に向けて、旭ヶ丘地区の認知症カフェ・コミュニティカフェの開催、手稲地区のオープンカフェや介護保険ミニ体験セミナーの開催等を行っております。今後も様々な活動を実践しながら、全ての人が世代やその背景を問わず、誰もが支えあい共に暮らしていくことが出来る地域社会の実現に向けて、社会福祉法人として住民の皆様と共に活動していきたいと思っております。





# より良い

## サービスの提供を目指して

### 平成 29 年度実施の法人研修の一例

- 全体に向けて
  - ・ストレスチェックについて
  - ・感染症について
- 階層別
  - ・新規採用者オリエンテーション
  - ・職員管理について
  - ・役職者の心得
- 課題別
  - ・認知症の方へのケアについて
  - ・虐待予防と権利擁護の観点から

図 1

2000年に介護保険制度が始まってから、福祉サービスを提供する事業者には質の高いサービスを安定して提供していくことが求められるようになりました。サービスの質の向上はご利用者の生活環境とそれを支える職員の資質が重要な要素となってきました。そこで今回は当法人の職員の資質向上とご利用者の生活環境への取組をご紹介します。

### 職員の資質向上の取組

当法人ではサービスを提供する職員の資質向上の取組として、必要とされる知識や能力、技術について体系的に職員に習得してもらうことを

目的に研修体制を整えています。全職員向けには研究・研修センターが、より実践的な内容に関しては各施設で実施しています。

(図1参照) また、国内・海外研修への派遣やフィードバックを目的に研修報告会の実施なども積極的に行っているほか、職員の日頃

の実践・研究発表の場として2年に1度、福祉・病院学会を開催し一般の方にも公開しています。

一方、資格取得や各種教育講座の受講などに対しても支援を行っています。今年度、新たな事業として施設で働きながら資格取得を目指す職員を支援する目的で「介護職員初任者研修」を開講する予定です。(P8参照)

### 生活環境への取組

つづいてご利用者の生活環境への取組についてご紹介します。

慈啓会特別養護老人ホームでは昨年度「プライバシー改修工事」を行いました。この工事は従来型特養



の多床室の居住環境を改善し、より個人の生活に配慮する目的で実施したものです。入居頂いたままの工事のため、色々ご不便をおかけすることもありました。空調設備・照明器具・便器の更新や落ち着いた色調を取り入れたことによ

り、「自分の居場所」を感じられる快適なスペースを提供できたのではないかと考えております。

また、同じく慈啓会特別養護老人ホームにて毎月クラシックの演奏会を開催しております。迫力のある生演奏は非日常の出来事として生活に潤いをもたらしていると思えます。

今回ふたつの観点から法人の取組をご紹介しましたが、今後多様化する地域やご利用者のニーズを的確に把握する事に努め、それを担う職員が生き生きと働ける環境の整備も含めてサービスの向上を目指していきたいと思えます。

# 平成 29 年度 法人決算報告

## 資金収支計算書

(自)平成 29 年 4 月 1 日 (至)平成 30 年 3 月 31 日 (単位:千円)

勘定科目		金額
事業活動による収支	収入	
	介護保険事業収入	1,978,453
	老人福祉事業収入	599,600
	保育事業収入	124,374
	医療事業収入	1,810,763
	借入金利息補助金収入	1,262
	経常経費寄附金収入	5,899
	受取利息配当金収入	191
	その他の収入	15,781
	事業活動収入計(1)	4,536,326
支出	人件費支出	2,872,793
	事業費支出	713,066
	事務費支出	625,455
	利用者負担軽減額	52,674
	支払利息支出	25,194
	その他の支出	74
	流動資産評価損等による資金減少額	0
	事業活動支出計(2)	4,289,259
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	247,066
	施設整備等による収支	収入
施設整備等補助金収入		45,571
設備資金借入金収入		59,300
施設整備等収入計(4)		104,871
設備資金借入金元金償還支出		203,974
固定資産取得支出		125,074
ファイナンス・リース債務の返済支出	24,723	
施設整備等支出計(5)	353,772	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 248,901	
その他の活動による収支	収入	
	長期運営資金借入金収入	200,000
	長期貸付金回収収入	120
	積立資産取崩収入	3,418
	その他の活動による収入	9,159
	その他の活動収入計(7)	212,698
	長期運営資金借入金元金償還金支出	73,820
	長期貸付金支出	1,200
	積立資産支出	5,000
	法人税、住民税及び事業税支出	292
その他の活動支出計(8)	80,312	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	132,386	
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	130,551	
前期末支払資金残高(11)	653,533	
当期末支払資金残高(10)+(11)	784,085	

## 貸借対照表

平成 30 年 3 月 31 日現在 (単位:千円)

資産の部		負債の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
流動資産	1,016,891	流動負債	648,539
現金預金	348,615	短期運営資金借入金	0
有価証券	10,000	事業未払金	189,413
事業未収金	633,646	その他未払金	2,266
未収金	5,907	1年以内返済予定設備資金借入金	182,655
未収補助金	8,528	1年以内返済予定長期運営資金借入金	71,400
未収収益	1,694	1年以内返済予定リース債務	20,957
医薬品	1,684	未払法人税等	292
診療・療養費等材料	1,453	未払消費税等	168
立替金	1,645	預り金	907
前払金	5	職員預り金	36,192
前払費用	3,684	前受収益	18
仮払金	25	仮受金	408
その他の流動資産	0	賞与引当金	143,858
固定資産	4,430,778	固定負債	1,716,735
基本財産	3,607,699	設備資金借入金	942,580
土地	154,300	長期運営資金借入金	292,940
建物	3,453,399	リース債務	43,185
その他の固定資産	823,079	退職給付引当金	438,030
土地	20,100	負債の部合計	2,365,274
建物	209,858	純資産の部	
構築物	20,264	基本金	604,016
機械及び装置	4,149	国庫補助金等特別積立金	1,313,306
車輛運搬具	94	その他の積立金	126,100
器具及び備品	59,191	施設整備等積立金	76,397
有形リース資産	63,158	人件費積立金	21,784
権利	106	その他の積立金	27,919
ソフトウェア	2,383	次期繰越活動増減差額	1,038,971
無形リース資産	673	(うち当期活動増減差額)	(72,752)
投資有価証券	42		
長期貸付金	4,190		
退職給付引当資産	312,314		
差入補償金	420		
施設整備等積立資産	76,397		
人件費積立資産	21,784		
その他積立資産	27,919		
その他の固定資産	30		
資産の部合計	5,447,670	純資産の部合計	3,082,395
		負債及び純資産の部合計	5,447,670

## 事業活動計算書

(自)平成 29 年 4 月 1 日 (至)平成 30 年 3 月 31 日 (単位:千円)

勘定科目		金額
サービス活動増減の部	収益	
	介護保険事業収益	1,978,453
	老人福祉事業収益	599,600
	保育事業収益	124,374
	医療事業収益	1,810,763
	経常経費寄附金収益	5,898
	その他の事業収入	291
	サービス活動収益計(1)	4,519,381
	費用	
	人件費	2,884,612
事業費	709,928	
事務費	625,455	
利用者負担軽減額	52,674	
減価償却費	251,276	
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 76,215	
徴収不能額	0	
サービス活動費用計(2)	4,447,731	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	71,649	
サービス活動外増減の部	収益	
	借入金利息補助金収益	1,262
	受取利息配当金収益	191
	その他のサービス活動外収益	15,781
	サービス活動外収益計(4)	17,235
	費用	
支払利息	25,194	
その他サービス活動外費用	74	
サービス活動外費用計(5)	25,268	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	△ 8,033	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	63,616	
特別増減の部	収益	
	施設整備等補助金収益	45,571
	その他の特別収益	9,427
	特別収益計(8)	54,998
	費用	
	固定資産売却損・処分損	0
	国庫補助金等特別積立金積立額	45,571
	その他の特別損失	0
	特別費用計(9)	45,571
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	9,427
税引当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	73,044	
法人税、住民税及び事業税(12)	292	
法人税等調整額(13)	0	
当期活動増減差額(14)=(11)-(12)-(13)	72,752	
繰越活動増減の部	前期繰越活動増減差額(15)	967,800
	当期繰越活動増減差額(16)=(14)+(15)	1,040,553
	基本金取崩額(17)	0
	その他の積立金取崩額(18)	3,418
	その他の積立金積立額(19)	5,000
	次期繰越活動増減差額(20)=(16)+(17)+(18)-(19)	1,038,971

## 苦情受付の公表について

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月までにいただきました苦情等は以下のとおりです。

- 受付件数: 3 件(上期のみ)
  - 申出内容(重複あり): 職員の言動に関する苦情(3 件) 説明、情報提供について(1 件)
  - 対応: 申出内容について、速やかに状況の確認を行い不快な思いに対する謝罪と改善に取り組んでおります。
  - 第三者委員会: 申出内容について第三者委員会に苦情内容及び苦情解決の経過・結果を報告し、助言等を頂きその後の業務に反映しております。
- 貴重なご意見ありがとうございました。

参考事例: 入居者の病院受診の付添いに伴う職員間の連携と言動について。

意見等: 相談員を通じて付添いをヘルパーの方をお願いしていたにも関わらず、看護師から家族宛に連絡がきた。職員は一方的な物言いで家族の話を理解してもらえなかったため、どのようにしているのか確認してほしい。

対応内容: 連携が取れていなかった実態を確認し、相談員からご家族に謝罪しました。同様の問題が起きないように周知徹底しました。

(注)決算報告の詳細については、法人ホームページ及び札幌市ホームページをご参照ください。



# 支えてくれる人と組織

町内会

南円山連合町内会

会長 伊場 行 様



私たち地域の慈啓会さんは、体調不良時、直接受診する事ができ、受付から看護師・医師に至るまで親切に対応して頂ける地域の安全安心な施設でございます。そして私ども地域の夏の大会運動会や秋の界川神社の子供みこし等にご協力頂き「共生」地域活動をさせて頂いております。

慈啓会さんは、母体である新善光寺が明治18年に藻岩山の山道を切り開き、33体の観音像を安置し、その後、用地内に大正14年札幌ではじめての「札幌養老院」を開設しました。以来90有余年、札幌慈啓会が高齢者の総合施設に偉大な発展をされました。藻岩山開山より130有余年の歴史と医療・介護・福祉の御貢献に敬意を表します。地域の誇りとして、札幌慈啓会総合施設の益々の充実発展を祈念いたします。

洗濯たたみ、夏祭り補助、清拭作成  
まること会  
代表 山辺 幸子 様

ボランティア



私たちが「まること会」は、毎週木曜日3名ずつで洗濯物たたみ・仕分け・繕いの活動をさせて頂いております。母体である神道の黒住教がボランティアを推進しているため、社会福祉協議会の募集記事を頼りにご挨拶に伺ったところ快く受け入れていただいたのがご縁となり、今年で20年となりました。ボランティアは「してあげるのではない、させて頂いたのだ」という精神で、人のお役に立させて頂けることを有難く嬉しく感じながら、各自が積極的に当番表に名前を書き入れ、86歳を筆頭に皆楽しく活動させて頂いております。



デイサービス・お話し相手

ボランティア

櫻井 礼子 様



今から15年程前、定年退職後、社協からお話を戴いたのがきっかけでボランティアを始めました。一人暮らしで時間を持て余していましたが、経験が無く不安だったため最初はお断りしようと思いましたが、それでも職員の方や施設の雰囲気良かった事と、高齢者のお話し相手なら出来るかもしれないと思い、週に一回デイサービスで活動することになりました。私を待っている利用者の方がいると思うと休めないうです。誰かの役に立っている事がうれしいです。今思えば何かに導かれたかのように感じるほど充実しています。

本日は皆様ご多忙のところ、ご出席賜り誠にありがとうございます。早くも第二十一回目の総会の季節が巡ってまいりました。昨年度も皆様の多大のご支援を賜りまして、会費、ご寄付合せて五百九十九万円という多額のご寄金を頂戴いたしました。この総額は昨年の1・6倍で、五十万円、三十万円、二十万円などの大口のご寄付が含まれていることを特に報告させて頂きます。諸事ご多端の折、ご厚志まことにありがとうございます。厚く御礼申し上げます。ご存知のように、後援会では平成二十三年度から、所得税法の改正に伴うご寄金に対する税額控除制度の適用に合せまして、頂戴したご寄金は、全額、慈啓会本部に繰り入れさせて頂いた上、各施設の整備費用や借入金返済の一部など慈啓会福祉事業推進の大きな力として大切に使用させて頂いております。終りに、毎年申し上げていることですが、「社会福祉法人札幌慈啓会」は、北海道における社会福祉事業のパイオニアでございます。助け合いの仏教精神に基づいた慈啓会福祉事業の維持、発展のため、これまでと同様、皆様の格段のご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

後援会



後援会 会長  
杉野目 浩 様

# 後援会会費等納入者ご芳名

平成29年度に後援会員様の年会費、ご寄付を合わせて589万8837円頂きました。この貴重なご芳志は、福祉施設等の改築費用へ返済に充てさせて頂いて頂いております。誠に有難うございます。厚くお礼申し上げます。

岩瀬 俊子	岩瀬 絹子	岩瀬 雅嗣	岩瀬 喜藤	北村 正道	北村 時子	貴田 しま	岸 實男	伊藤 八郎	伊藤 秀	伊藤 光男	市川 京子	石本 政紀	石原 瑛子	石月 彰	石谷 昭治	石川 光保	石川 厚信	石川 良一	石井 徳洪	池田 修一郎	池田 頭	五十嵐 貞	安中 静子	安齊 恵美子	荒川 喜春	荒川 博	荒川 博	（有）アトリエ本間 建築工房	我妻 政敏	浅田 眞吉	青木 宗一	相原 宗一	
木村 和子	木村 和子	木村 和子	木村 和子	木村 和子	木村 和子																												
佐藤 マサイ	佐藤 マサイ	佐藤 マサイ	佐藤 マサイ	佐藤 マサイ	佐藤 マサイ																												
田村 治郎	田村 治郎	田村 治郎	田村 治郎	田村 治郎	田村 治郎																												
原田 公夫	原田 公夫	原田 公夫	原田 公夫	原田 公夫	原田 公夫																												
丸山 淳士	丸山 淳士	丸山 淳士	丸山 淳士	丸山 淳士	丸山 淳士																												
他 職員29名	他 職員29名	他 職員29名	他 職員29名	他 職員29名	他 職員29名																												

※敬称略・五十音順  
※法人職員名は、記名を省略させて頂いております。

## 加入のお願い

高齢福祉の必要性が高まっている昨今、施設は地域に貢献する責務があり、会員様のご協力、ご支援は法人の運営で大変大きな支えとなっております。

会員様の継続した加入の他に、一人でも多くの方の新規ご加入をお待ちしております。

**社会福祉法人 札幌慈啓会 後援会事務局**  
〒064-0941 札幌市中央区旭ヶ丘5丁目6番51号  
TEL：011-561-8291 FAX：011-561-8298

## 決算・予算

決算・予算	収入 (千円)	支出 (千円)
平成29年度決算	・会費：250件 2,202 ・寄附金：110件 3,696 ・雑収入 718 計 6,616	・法人繰入金 5,898 ・事務事業費 718 計 6,616
平成30年度予算	・会費・寄附金 7,000 ・雑収入 700 計 7,700	・法人繰入金 7,000 ・事務事業費 700 計 7,700



後援会事業の一例として、駐車場横のバス停前にお花のハンギング事業もおこなっています。

監事	監事	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	副会長	副会長	会長					
富樫 英樹	佐藤 源五郎	藤田 晃三	加藤 敏彦	深谷 仁	東出 俊之	福田 三行	佐藤 保則	勝藤 成規	小村 知江子	佐々木 琢至	堀内 和紀	寺井 孝典	谷本 由紀子	藤岡 弘昌	太田 真海	太田 眞琴	佃 公子	細川 昭一	熊谷 明也	植田 英隆	池田 圭	武田 圭策	片山 浄教	大室 スミ	山田 肇	横山 昭	杉野 目浩

後援会役員  
(任期29年度・30年度)

## 木洩れびの家・会議室貸し出しのご案内

慈啓会特別養護老人ホームでは地域の皆様にご利用頂けるお部屋の貸し出しを無料で行っています。

- 町内の会合場所として
- 茶話会や文化活動の場所として
- 食事休憩場所として など

ご興味のある方はお気軽にご連絡ください。



お問合せ .....

慈啓会特別養護老人ホーム  
電話 (011) 561-8291

介護の基礎から応用まで学べる

## 介護職員 初任者研修

開講  
します

### 通学講座

札幌慈啓会では、今年度介護職のスタート資格ともいえる介護職員初任者研修を開講します。

介護職を希望される方はもちろん、他の業種やこれから益々増える事が予想される家族介護まで幅広くお役立て頂けます。



研修期間 8月20日(月)～10月24日(水)  
月・水・金・土 の週4日

研修会場 札幌慈啓会特別養護老人ホーム  
札幌市中央区旭ヶ丘5丁目6-51

受講料 55,000円(税込)  
\*テキスト代含む

定員 15名

募集期間 7月20日(金)～8月10日(金)

詳細はホームページに記載していますのでご確認ください。

お申込・お問合せ：札幌慈啓会 研究・研修センター  
電話 (011) 561-8291

## 編集後記

夏もいよいよ最盛期を迎え、海に山に連日大勢の人たちが涼を求め出かけている。ここ旭ヶ丘にある慈啓会施設の横を通る市道は、藻岩山山頂への登山道と繋がっており、早朝からたくさんの市民がこの急坂な道を登って来る。今や国内では年代を問わず登山ブームが爆発的な広がりを見せている。本格的な登山とは異なり、標高531mの藻岩山はハイキング感覚で登れると聞く。一度挑戦をしてみようと考えてはいるが、なかなか重い腰は上がらない。折しも、8月11日は「山の日」である。たまには心地良い汗をかきながら、全身の弛んだ筋肉を酷使し、山頂の風に吹かれて道都札幌を一望してみたいと思うこの頃である。(俊)



### 表紙題字揮毫：「共生」

長谷川白羊(はせがわはくよう)書。

昭和4年札幌生まれ。本名・悦(よしつぐ)。法政大学文学部卒。昭和35年山口子羊に師事。平成2年「札幌と書」(札幌市教育委員)に於いて「札幌の書家」百選に選ばれる。平成6年個展開催(於 札幌大丸藤井セントラル)

表紙写真：「ともいき保育園保育士」

### 広報誌「共生」 2018年7月 Vol.05

編集発行／社会福祉法人札幌慈啓会

[法人本部] 〒064-0941 札幌市中央区旭ヶ丘5丁目6番51号  
(慈啓会特別養護老人ホーム1F)

TEL 011-561-8291 FAX 011-561-8298

<https://www.sapporojikeikai.or.jp>